

	採取開始日	採取終了日	採取大気量 (m ³)	平均粒子濃度 (μg/m ³)
A	2002.12.3	2003.3.5	90596	17
B	2003.4.17	2003.9.19	147134	28
C	2004.2.3	2004.2.24	60463	22
D	2004.4.28	2004.6.3	98983	25

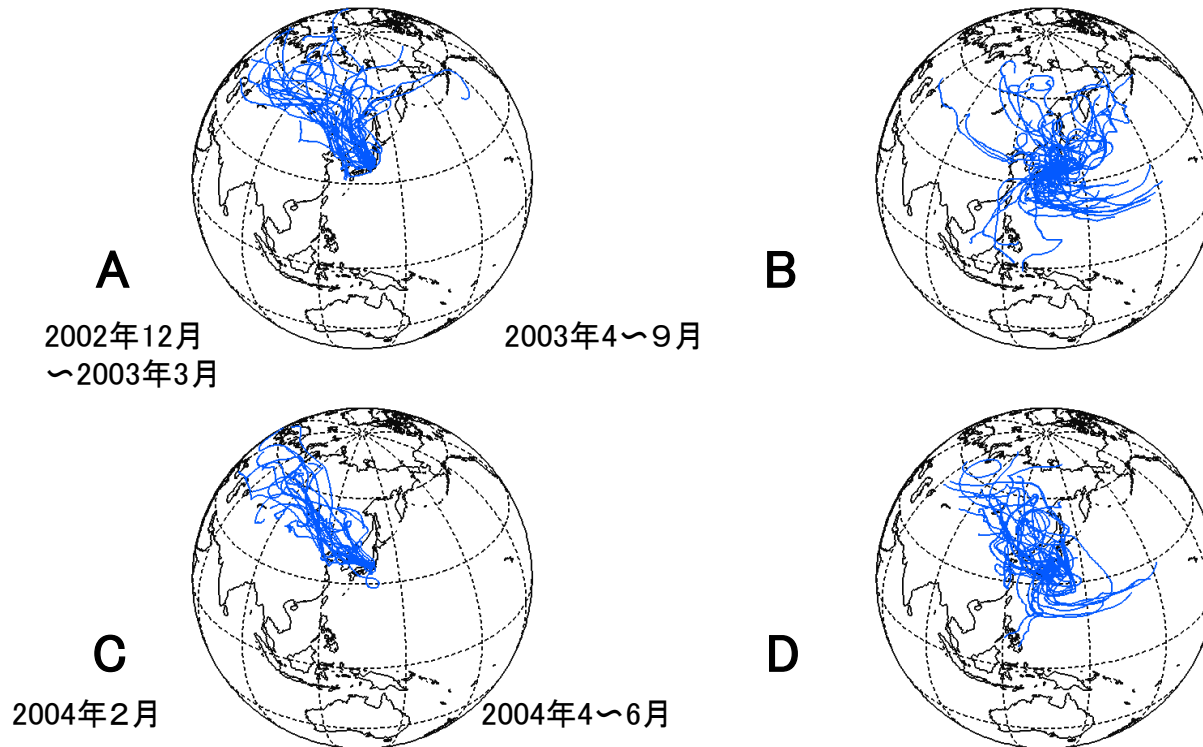


図2 試料採取期間の後方流跡線解析

試料採取を行った全日程について、試料採取地点(35° 38' N, 139° 22' E)に到達した空気塊の過去10日間の移動経路をNCEP気象観測データから、(独)国立環境研究所のMETEX-CGERというソフトウェアを用いて計算した。冬期(左側 A、C)には春～秋(右側 B、D)にかけての時期よりも大陸性の空気塊の影響を強く受けていることがわかる。